

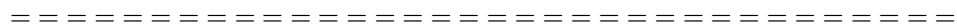


2019.11.28



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。



## ■日本で育つ■

アウン ゾウ テェ パインさんは、8歳の時にミャンマーから来日し、双子の弟とともに都内の小学校、中学校、高校での学校生活を送りました。幼少期から思春期のパインさんの日々には、いくつもの大きな壁が立ちはだかりました。現在 22 歳の青年となったパインさんに、当時の苦勞と、それを乗り越え、見えてきた将来について語ってもらいました。

.....

ある双子の兄弟の軌跡（その 1）

苦勞の向こうには

アウン ゾウ テェ パイン（ミャンマー）

## ◆来日後すぐに小学 3 年生に編入

私は、1997 年にミャンマーのヤンゴンで三人兄弟の次男として生まれました。父は、ミャンマーの政治と経済に不満があり、私たちが生まれる前に日本へ行きました。ですから、私は幼い頃、母、兄、弟、祖母、従兄弟達と暮らしていました。「いつか父のいる日本へ行きたい」と思っていました。そしてその夢が叶ったのは 8 年後でした。

2006 年 4 月、私は、母、兄、弟と一緒に日本へ来ました。これからの日本の生活に夢と希望を抱いていました。でも、現実、それほど甘くはあり

ませんでした。まず、最初の壁は日本語でした。ミャンマーでは、日本語を何も学ばずに来たので、一言も話すことが出来ず、本当に困りました。私と弟は、来日後すぐに日本の小学3年生に編入しました。クラスメイトや先生のしゃべっていることが一言も分からず、毎日手探りの中で学校生活を送りました。そのため、クラスメイトとなじめずに、遊ぶこともありませんでした。また、弟とは、一緒のクラスだとミャンマー語で話してしまうからということで、クラスが別々でした。ですから私は、教室で一人静かにすわっていました。授業で、みんなが算数や図工をやっている時、私はあいうえおをひたすら練習していました。2時に学校を早退し、市がやっている日本語教室で日本語を勉強しました。家に帰ると義理の姉に算数を教えてもらいました。本当に勉強漬けの毎日でした。それでも、苦勞すること半年、私は徐々に日本語ができるようになり、日本の学校生活にも慣れていきました。

#### ◆いじめを受けた中学校時代

ところが、安心したのも束の間、6年生になると女子にいじめられるようになり、それが2つ目の壁になりました。暴力ではなく「きもい」などの言葉によるいじめです。私はいじめた女子達の気持ちが、分からなくもありません。きっと彼女達は、それまでに外国人と交流したことがなく、外国人は怖いという印象があったのだろーうと思います。その頃の日本の小学生は、ミャンマーのことをほとんど知らなかったと思うし、教科書や図書館にあるミャンマーの本には、田舎や貧しい家の写真ばかり載せていて、「ミャンマーは貧しい国だ」と思ったかもしれません。

いじめは、中学3年生まで続きました。特に中学3年生の時にあった出来事は、忘れることができません。その日、入試面接の練習をするために、先生に机を教室の外に出すよう指示されました。ちょうどその時、男子は合唱コンクールの練習をしていたので、机は女子が運ぶことになりました。みんなの机がどんどん運ばれて、最後に私の机が残りました。すると、女子達が譲り合いを始めて、結局一人の女子が運んだのですが、雑巾を使って自分の手が机に直接触れないようにして運んでいくのが見えました。とてもショックでした。

#### ◆クラスの半分が外国人の高校へ

そして、最後の大きな壁は、進路でした。私は、それまでのいじめが原因で、身体表現性障害という精神疾患に苦しみ、中学3年生の時はほぼ不登校の状態

になっていました。心配した母が友達に相談すると、その人の息子さんが通っている定時制高校を紹介してくれました。私は、母と弟と一緒にその高校を見学に行きました。そこで私の目に飛び込んできたのは、クラスの半分が外国人で占められている教室でした。ここなら安心して授業が受けられそうだと思って、その高校に進学することに決めました。高校では、先生方が「やさしい日本語」で授業してくださり、中学の時と比べてテストの成績も上がりました。もう、いじめられることもありませんでした。そして卒業時には、日本語能力試験（※1）N2を取得して、卒業式では、学年代表として答辞を読むまで成長することができました。

#### ◆国が違って同じ人間

最後に、これを読んでいる外国人の方に言います。あなたは決して一人ではありません。私たちもいます。一緒に頑張っていきましょう。努力が報われる時は、必ず来ます。それを信じて、強く生きていきましょう。また、これを読んでいる日本の方にも言いたいです。私たち外国人は、国が違って皆さんと同じ人間です。いろんな苦勞をして、一生懸命生きています。もし、皆さんの周りで困っている外国人、悩んでいる外国人がいたら、優しく手を差し伸べてあげてください。私たちは皆さんに助けられた恩を一生忘れません。

今、私は日本語能力試験 N1 を取得するために、読解や文法を毎日勉強しています。また、動画 YouTube（ユーチューブ※2）を通して、ミャンマーの文化や伝統を伝える異文化系 Youtuber（ユーチューバー※3）として活動しています。これからも、私は日本とミャンマーの架け橋になれるよう、自分のできることを精一杯やっていこうと思います。

#### 【編集部注】

（※1）日本語能力試験：日本国内及び海外の日本語を母語としない人を対象に日本語能力を認定する検定試験。N1 から N5 までのレベルがあり、一番難しいレベルが N1 となる。

（※2）YouTube：登録不要で多くの動画を視聴することができるサービス。インターネット環境があれば基本的に無料で利用できる。

（※3）Youtuber：YouTube 上で、独自に制作した動画を公開する人を指す。動画再生により広告収入が得られる。

---